

# 教育研究業績書

所属	職名	氏名
食物栄養学科	教授・学長	森 正人

I 教育活動		
教育実践上の主な業績	年月日	概要
(1)教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)		
(2)作成した教科書・教材・参考書 『説話文学選(中世)』(和泉書院、池上洵一・他と共編)	昭和62年2月	中世日本文学諸作品のなかから説話を選び出し、テーマごとに整理し、それぞれに注釈を加え、作品に解説を施したものの。
(3)教育方法・教育実践に関する発表、講演等 授業中の小レポートを利用した教養教育-「日本の文学」の場合-(単著)『国語国文学研究』第39号  日本語表現力養成の授業方法と二、三の教材(単著)『文学部論叢 人間科学・コミュニケーション情報学篇』第80号  学生の小レポートによって展開する授業-「水の文学誌」の場合-(単著)『第五十三回九州地区一般教育研究協議会議事録』	平成16年3月  平成16年3月  平成17年1月	熊本大学の教養教育の授業科目「日本の文学」において、学生に小レポートを書かせ、これによって受講者の理解度を計り、関心の所在を知り、これを踏まえて授業を展開する方法の試みについて報告したもの。  大学の教養教育における文章表現能力の養成を図る授業において、学生の作成した文章を教材としつつ授業を展開する方法の試みについて報告し、課題を検討したもの。  熊本大学の教養教育の授業科目「日本の文学」において、学生に小レポートを書かせ、一部を受講者に紹介し、これを用いて授業の更なる拡充と深化を図る実践について報告し、課題を検討したもの。
(4)その他教育活動上特記すべき事項 講演「近年の〈もののけ〉研究と源氏物語」熊本県高等学校教育研究会国語部会 平成26年度総会	平成26年5月16日	近年の民俗学、宗教史学、日本史学の〈もののけ〉に関する研究動向を紹介し、日本古典文学とりわけ源氏物語研究の現状を批判的に検討し、今後の研究の方向を提示するもの。

II 研究活動					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月	発行所、発表雑誌(及び巻、号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	該当頁数
(著書)					
今昔物語集の生成	単著	昭和61年2月	和泉書院		総頁290頁
今昔物語集 五(新日本古典文学大系)	単著	平成8年1月	岩波書店		総頁566頁
源氏物語と〈もののけ〉(熊本大学ブックレット)	単著	平成21年5月	熊本日日新聞社		総頁60頁
場の物語論	単著	平成24年9月	若草書房		総頁396頁
心をめぐる古代的表現	単著	平成24年10月	熊本大学大学院社会文化科学研究科		総頁50頁
古代説話集の生成	単著	平成26年3月	笠間書院		総頁350頁
三国伝記平仮名本 上、中、下	共著	昭和57年11月～58年3月	古典文庫	安田孝子・森正人ほか	総頁313、373、333頁
日本文学発掘	共著	昭和60年4月	象山社	矢野貫一・森正人ほか	総頁242頁
今昔物語集 上、下	共著	昭和62年7月	ほるぷ出版	小峯和明・森正人	総頁287、279頁
説話の講座1～6	共編著	平成3年5月～平成5年4月	勉誠社	本田義憲・森正人ほか編	総頁400頁、365頁、432頁、382頁、484頁、372頁

熊本大学「地域」研究－東アジアの文化構造	共編著	平成9年1月	九州大学出版会	工藤敬一・金原理・森正人編	総頁264頁
文学史の古今和歌集	共編著	平成19年7月	和泉書院	森正人・鈴木元編	総頁264頁
東アジアの文化構造と日本的展開	共編著	平成20年3月	北九州中国書店	安田宗生・森正人・他編	総頁407頁
細川幽齋 戦塵のなかの学芸	共編著	平成22年10月	笠間書院	森正人・鈴木元編	総頁416頁
細川家の歴史資料と書籍	共編著	平成25年3月	吉川弘文館	森正人・稲葉継陽編	総頁248頁
村上春樹におけるメディアウム 20世紀篇、21世紀篇 (論文)	監修	平成27年8月	淡江大学出版中心	森正人監修 小森陽一・曾秋桂編集	総頁275頁、242頁
鏡に映る他者としての自己－夏目漱石・芥川龍之介・遠藤周作・村上春樹－	単著	平成23年2月	国語国文学研究 第46号		pp.46-57
芥川龍之介の小説世界と六道	単著	平成23年5月	芥川龍之介與東亞国際学術研討會手冊		pp.33-40
東アジアの龍蛇伝承－シンポジウムの司会を務めて後に－	単著	平成24年3月	説話・伝承学 第20号		pp.65-71
〈もののけ〉考－現象と対処をめぐる言語表現	単著	平成25年2月	国語国文学研究 第48号		pp.112-128
馬の頸を抱く子供たち－債負転生譚から恩愛転生譚へ－	単著	平成26年1月	文学(隔月刊)第15巻第1号		pp.63-76
転生譚をめぐる事実と虚構－浜松中納言物語・豊饒の海の夢と記憶－	単著	平成26年3月	文学部論叢 第105号		pp.151-161
熊本時習館蔵書目録考	単著	平成26年3月	かがみ 第44号		pp.18-38
古代心性表現論序説	単著	平成26年3月	国語国文学研究 第49号		pp.20-36
村上春樹文学における両義性－内界としての外部－	単著	平成27年7月	2015年度村上春樹国際シンポジウム国際会議予稿集		pp.1-8
源氏物語夕顔巻某院の怪	単著	平成28年3月	尚綱語文 第5号		pp.1-7
説話が機能を超えるところ	単著	平成29年6月	中世文学 第62号		pp.3-12
(その他)					.
永青文庫蔵熊本大学寄託和漢書の調査研究	単著	平成23年2月	国文研ニュース No.22		p.1
[研究ノート]細川幽齋の学芸活動に対する一視点	単著	平成24年3月	永青文庫研究センター年報第 2号		pp.22-24
芥川龍之介と東亞－出典・諸作品の相互連関・読者－	単著	平成23年5月	芥川龍之介與東亞国際学術研討會手冊		p.141
村上春樹における日本の文学伝統の享受と創作に関する研究	共著	平成25年7月	平成24年度社会文化科学研究科学際的共同研究の拡充・推進プロジェクト報告書	坂元昌樹・森正人・他	pp.135-147
第29回熊本大学附属図書館貴重資料展解説目録 物語史と絵	共著	平成25年10月	熊本大学附属図書館・文学部附属永青文庫研究センター	森正人・徳岡涼	総頁7頁
河原院に融の心を汲む	単著	平成26年1月	新春わかくさ能		
拾遺往生伝、本朝神仙伝	分担執筆	平成26年10月	日本語大事典(朝倉書房)		
村上春樹文学における「両義性」－本文と読みの視点から－	単著	平成27年7月	2015年度村上春樹国際シンポジウム国際会議予稿集		p.379
モノノケの宗教・歴史・文学		平成26年4月25日	説話文学学会シンポジウム	小山聡子・上野勝之・森正人	

村上春樹文学における 両義性－内界としての外部－		平成26年7月25日	2015年度村上春樹国際 シンポジウム 基調講演		
文学の生まれる〈ところ〉		平成28年5月28日	中世文学会春季大会シン ポジウム	森正人、荒木浩、平野多 恵	

### Ⅲ 学会等及び社会における主な活動

昭和63年7月～現在	説話文学会委員
平成9年6月～現在	中古文学会委員
平成12年4月～16年3月、平成26 年4月～現在	仏教文学会委員
平成14年8月～平成20年3月	国文学研究資料館運営協議会運営協議員
平成15年4月～17年3月	中世文学会委員
平成22年4月～平成28年3月	人間文化研究機構教育研究評議員
平成28年4月～現在	人間文化研究機構経営協議会議員
平成24年4月～平成28年3月	国文学研究資料館調査収集委員会委員
平成26年8月～現在	淡江大學村上春樹研究中心諮問委員